

臨床人間学—自分の生・老・病・死を考える

筑波大学名誉教授 庄 司 進 一

経歴

昭和41年：東京大学医学部 卒業、東大病院で卒後研修
 昭和43年：東大病院神経内科 医員
 昭和49年：信州大学医学部第三内科 講師・助教授
 平成 4年：筑波大学医学専門学群(内科学・神経)教授
 平成17年：城西病院 院長
 平成24年：一之瀬脳神経外科病院 脳神経センター長
 平成27年：桔梗ヶ原病院 医師

1. 臨床人間学

生・老・病・死は、私たちにとって避けることのできない、例外のない現実です。このテーマについて、真剣に考え、周囲の人々と話し合う機会は、意外に少ないのではないのでしょうか。「臨床人間学」の目標は、生老病死に関する具体的な場面をとおして、人間、個々人の人生の意義や生きがいについて考える機会をもつことです。生や死の問題を「だれかの」という三人称ではなく、「自分の」という一人称の問題として考えることに重点を置いています。

生とは何か、死とは何かについて正面からとらえ、議論する教育を1994年に医学生を対象に、1996年には全学の大学生を対象に筑波大学で開講しました。

演習テーマの提示の後、少人数グループに分かれ、自由討論する、再び集まって各グループでの討論概要を報告し、全体討論する、という順で進められます。筑波大学生の投票でこの教育が「ベスト・レクチャー賞」に選出されたりもしました。

大学生のみならず、医療者、教員、一般社会人、中学生などにも対象をひろげ、実践してきましたが、どのグループからも支持を得、中には継続的な自主勉強会が始まりました。ここでは「余命告知」の授業の一部を再現してみます。

2. 命の期限を告知されたら

あなたは本日の昼前、なんとなく腹部がムカムカし久しくなかつた吐き気を感じました。食欲もなく、昼食も夕食もほとんどとれませんでした。

少し疲れたのだろう、一晩眠れば治るだろうと考えて就寝しましたが、翌朝起床時にも吐き気が

続いています。その後もやまず、食欲もありません。そのまま職場へ来て医務室へ立ち寄りました。

保健師さんが、総合病院の内科を受診するように紹介してくれ、そのまま病院へ向かいました。食事も飲水もしてこなかったことと、たまたま午前中に空きがあるということで、上部消化管内視鏡検査を受けました。この内視鏡検査は、のどに麻酔薬を噴霧して、先端から光をだして消化管の内部を観るファイバーを口から挿入します。検査医が上手で、苦痛もなく、ファイバーが入りました。医師の話によると、胃の中の7ヶ所を生検したということです。生検とは、針や鉗子、メスで組織の一部を切りとって検査し、病理組織学的に観察・診断することです。この場合は、ファイバーの先端近くから出る針で組織をとります。胃の粘膜の組織をとっても痛みはありません。

胸のレントゲンや腹部エコーもすることになりました。腹部エコーというのは、腹部にゼリー状のものを塗って、超音波を受発信する探触子という太めのペンライトのようなもので、超音波を体内に発信し、その反射波(エコー)を記録して、臓器などを調べます。

担当医から「結果を急ぎ出し、説明いたします」と1週後の予約をとりました。

再診までは、吐き気が続き、食欲もなく、腹が張っているような感覚もありました。

再診時、医師の話では胃の内部を観た瞬間から、進んだ悪性腫瘍が胃壁全体に広がっているのが分かったそうです。生検した7ヶ所の組織は、すべて悪性度の高いがん組織に占められていました。エコーの結果では、腹腔内に広くがん細胞が種を播くように転移していて、腹水がたまっていまし

た。肝臓には30カ所程の大小の転移があります。胸部レントゲン写真によると、両肺に広く散らばって、60カ所程の小粒状の転移がみられます。組織からみても未分化ながんで、進行は速いでしょう。

余命3ヶ月くらいと告知を受け、表1. にある3つの質問に答える必要があります。自分の問題として考えてください。

■表1. 三つの質問

あなたは突然、自分が進行性のがんであることを知らされます。余命は3ヶ月。

- ①あなたはまず、だれにこのニュースを伝えるか？
また、いつ頃知らせるか？
- ②これからの3ヶ月をあなたはどう過ごすか？
- ③残りの3ヶ月、周りの人にどうしてほしいか？

出典：「生・老・病・死を考える15章
実践・臨床人間学入門」朝日選書730

3.三つの質問

①誰にいつ知らせるか

家族、恋人、親友など親しい人に、できるだけたくさんの人に、知らせる、誰にも言わないで黙っていて死期が迫ったら家族にだけ知らせる、など人さまざまです。

②余命をどう過ごすか

好きなことや楽しいことをしたい、人と話したい、本や日記を書く、掃除をする、人に手紙を書く、動けるうちは今まで通りの生活を送る、早く死にたい、などこれも人さまざまです。

③周りの人にどうしてほしいか

今まで通りに接してほしい、特別に扱わないでほしい、という意見が多い。

これらの討論の中で私は表2. のコメントをしました。

4.メメント・モリ

余命告知された場合、今まで通りないし今までになるべく近い生活を送りたいという考えと、余命を考えると今の生活と違ったことをしたいとの考えがあります。

後者の考えの人で、したいことが生きがいであ

■表2. コメント

飛行機に乗ることは、肺転移の状態からは危険が多く勧められない
安楽死はわが国では認められていない
財産などに関する遺言は、公証役場で作成することを勧める
若い相手の場合、その人が観る年齢などを指定してビデオレターを遺せる
人生の振り返り、死の意味、死後の世界などを話し合い、考察する
感謝を伝え、別れの挨拶をし、再会の約束を交わす

出典：「生・老・病・死を考える15章 -」

るなら、今すぐに準備を開始して早くスタートできるようにすることです。なぜなら今回の演習では余命3ヶ月と告知されましたが、現実は今からどれだけ生きられるのか定かではありません。これよりも長いことも、短いこともあり得ます。これは死を身近に引き寄せて生きるということ、メメント・モリ（表3）の思想です。

一方現在生きがいを追求している人は、特に日々の生活を変えずに死に向き合います。

最期についての私見を述べさせていただけるなら、遺される人々への遺言と、個人的にも死が大きな区切りであるので、人生の振り返りや死の意味や死後の世界についての話し合いや考察は重要です。この後、愛する人へ感謝を伝え、別れの挨拶をし、再会の約束を交わし、死を迎えられればと願っています。

しかし不慮の死を逃げる可能性も考慮して、愛する人には常日頃、遺言の要点と感謝を伝え、突然の別れが訪れても再会しようとして約束を交わしています。

■表3. メメント・モリ

メメント・モリ memento mori
なんじは死を覚悟せよ
死の警告、特に、死の象徴としてのしゃれこうべ
人間の欠陥やあやまちを思いださせるものとして
ヨーロッパ ルネッサンス
バロック期の絵画のモチーフ

出典：大辞泉